



ezo village

活動紹介

札幌から車で40分、札幌の隣小さな農村美登位のはるきちオーガニックファームには、有機で営まれる畑と小さな森があります。そんな自然の中で子どもから大人まで人と人をつなげる機会を生み出しながら、整備を進める中で交流拠点としての可能性を探っていきます。

2019年総括

今年度、新規に立ち上げたプロジェクトチームです。はるきちオーガニックファーム（通称：土場）において備品管理、現場整備、土場MTG、交流イベントezocampの実施、イベント運営の補助を行いました。裏方としての役割が多かったですが、しっかりと管理、運用することで各プロジェクトそれぞれの活動場所ではなく ezorock 全体の交流の場としての可能性も見えた一年でした。（じゅんちゃん）

目的・背景

実施内容

成果

声

ezorockの中で薪割り、畑の活動、子どもの自然体験まで様々な活動が行われているはるきちオーガニックファームであるが、横の繋がりをつくる機会は少なく、コアスタッフや参加者にとっても活動場所としての面が大きい。本プロジェクトでは、はるきちオーガニックファームを各プロジェクトチームの活動場所としてだけでなくイベントの運営、補助、整備を進める中で自然の中で子どもから大人まで人と人をつなげる機会を生み出すことのできる交流拠点としての可能性を探ることを目的とする。

活動・回数・参加人数

- ・土場の利活用を考える活動 ezocamp 4回 のべ 37名
- ・土場の情報共有会議 土場MTG 5回
- ・イベント運営補助 10回
- （RSRオーガニックファーム種芋植え、芋収穫、びとの森のようちえん、RSRVC合宿、ピタゴラスの森、湧別おためし協力隊、GreenBeats）
- ・整備したもの（常設かまど、ベンチ、駐車場、山の階段）
- ・かんたんてんとの活用

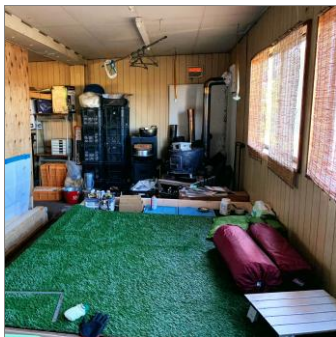
ezocampでは、普段活動しているはるきちオーガニックファームでキャンプを行うことで各チームの活動を超えて交流する機会となりました。また、焚き火を見つめながらより活動しやすい土場についても意見を交わすことができました。またプレハブ内の整理を行ったことで各チームが備品を使用しやすくなり、山の整備やベンチづくりといった現場整備を行ったことにより普段の薪割り、畑の活動、子どもの自然体験などを行うだけでなく、野外での研修場所としての機能も果たすようになりました。

参加者(20代学生)

山が遊びやすくなっていたり、美味しいご飯が食べれたり、薪ストーブでホカホカなプレハブに泊まれたり、屋外なのにスクリーンで動画が楽しめたり、トイレがあったりして、こんなにもキャンプは快適な空間になるのかと、とても驚きました。

コアスタッフ

印象的だったのは数年ぶりに子どもを連れて訪れた家族の様子。子どもたちがボランティアとの交流や整備された山で楽しそうに遊ぶ様子を見て、この場所に広がる可能性と様々な人が関わる理想的な姿の一端を見た気がしました。



芝生を敷き整備したプレハブ



整備の様子



イベント運営補助（種芋植え）



ezocamp